

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候が悪く来客数は減少したが、飲食関係は連休後も伸びている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・先月、新館がオープンし、ゴールデンウィークを中心に来客数が3倍以上と大幅に伸びている。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・売上の前年割れが4か月間続いていたが、今月は量販店で前年比2.5%増、コンビニエンスストアで前年比2.1%増、ローカルスーパーで前年比1.1%増となった。ゴールデンウィークの行楽時にパン、弁当等が非常に良く売れた。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・明らかに販売量が増えている。
	やや良く なっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・以前は様々な販促策を講じて、客の反応が鈍かったが、今月は天候不順にもかかわらず反応が良い。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・良いものを購入しようとする客が増えており、高額品でも購入意欲が高い。ただし、こだわりのないアイテムに関しては、できる限りお値打ちなものを探す傾向もある。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の買物の様子を見ると、選ぶ時間が短く、迷わず買っている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・競合店が相次いで出店し、天候も雨の日が多く、販売量の減少が懸念されていたが、思ったほど影響を受けておらず、食品関係の商品の動きが良い。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・低価格の商品アイテムを取り入れたことで窓口が少し広くなり、来客数が増加した。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・春の立ち上がりはまずまずの成績で推移している。正価販売品がかなり動き、客の購買意欲は更に増している。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・天候不順により、部門によって売上はまちまちであった。呉服が前年比4%減、宝飾品は前年比2%減と動きが鈍かったが、ヤング衣料は前年比12%増、ミセス婦人服も前年比9%増となり、全体では前年比7%増と好調であった。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・電気製品の買い換えが多くなっているのに加え、現金支払いの客が増えてきた。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・付加価値の高い商品が良く売れるようになった。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップが間近に迫り、大型テレビ等の売行きが良いことや、省エネに関わる商品が着実に伸びている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を上回っている。客の様子を見ると10年振りくらいのにぎやかさで、活気が出ている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・関東、関西からの客が多く、来客数が昨年に比べ増加している。		
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは日並びが良く、宿泊、ゴルフ、アミューズメントと好調であった。団体客の引き合いも出始めている。		
ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・ゴルフの予約状況は、夏は暑く例年伸び悩むが、今年は前年を上回っており、明るい見通しである。特に県外からの旅行者が多くなっているため客単価も上がる。		
美容室（店長）	来客数の動き	・近隣で2店ほど店を閉めており、その影響で少しは来客数が増えている。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天候が良く、各地でいろいろなイベントがあり、商店街に来る客が少なかった。それが終わってからも、天候不順により来街者数は減少している。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・連休が過ぎ、雨の日が多く、来街者は少なくなっている。また商圈内にスーパーのオープンが多くなり、その安売り合戦で商店街は厳しい状況である。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は増えているが、売上が伸びない。本来ならもっと増えていければならない売上がとどまっている。	

一般小売店〔鮮魚〕(店員)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後、売上が伸びない。税金や支払などの資金繰りが大変である。
百貨店(売場担当)	販売量の動き	・気温が上がらず、夏物衣料品等の季節商品の動きが今一つである。
百貨店(営業企画担当)	販売量の動き	・来客数は前年を越えて推移しているものの、販売額は実績を落として推移している。買上点数、客単価とも減少傾向にある。
百貨店(売場担当)	販売量の動き	・北海道物産展と紳士衣料品が好調であったため、来客数は前年比103%とやや上向いている。先々月、先月よりは若干改善しているが、3か月前と同じくらいの水準である。
スーパー(店長)	競争相手の様子	・競合店が閉店し、売上が上がっているところもあるが、衣料品は3か月前と変わらず苦戦している。天候のせい春物衣料の動きが特に悪い。
スーパー(店長)	単価の動き	・客単価に関してはここ数か月、非常に厳しい状況が続いている。売出品、特価商品の動きは堅調であるが、それ以外のものに関しては客は非常に慎重になっている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・こどもの日や母の日等の季節商品の買上点数は前年をクリアしているが、1品単価が前年比5%ほど減少し、結果として売上は前年比2%ほどの減少である。
スーパー(総務担当)	それ以外	・売上は前年を上回って推移しているが、衣料品専門店等には天候不順もあり、伸び悩みが続いている。
スーパー(総務担当)	それ以外	・長雨のせいかなり客の出足が悪かった。
スーパー(企画担当)	来客数の動き	・今月は昨年よりも週末を中心に雨天日が多く、寒暖の差も大きい涼味商材を中心に動きが悪い。売込強化や100円均一セールを中心に生鮮部門は好調であったが、3月、4月にオープンした競合店の低価格攻勢の影響が大きく、米・酒・日配品・雑貨等を中心に苦戦を強いられている。
コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は天候に恵まれ、売上も前年比110%と順調に推移していたが、その後天候不順が続き、売上も下降し厳しい状況となっている。
コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・ゴールデンウィーク後、客の買上点数、客単価が極端に低下している。
衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・5月は天気が悪い日が多く、人の動きも心配されたが売上は前年と変わらず、まずまずといったところである。若い人の買上単価は低く、50代～60代の方は良いものを高額でも買っているがその回数が若干減っており、財布のひもが少し固くなっている。
家電量販店(店員)	お客様の様子	・20代の若者を中心に、公務員や正社員といった正規雇用のグループと、アルバイトやパートといった非正規雇用のグループとで購買力に格差ができており、消費の二極化が見られる。
乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・販売量が思うように伸びない。
住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・大型連休以降、夏場にかけて来客数の減少が目立つ。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(統括)	販売量の動き	・燃料油の小売価格が値上げされ、ここ数年で過去最高の価格が続いている。ガソリンの需要はさほど変わらないが、少しでも安いセルフスタンドを利用する客が増加している。また、公共交通機関の船などで運賃の値上げが今後計画されているなど、生活に影響が出てくる。
その他小売〔雑貨卸〕(総務担当)	お客様の様子	・得意先では、良いところ悪いところの二極化が進んでおり、客の動きも滞っている。
高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの前半は天候が良く、個人客が多かったが、店全体の売上としては法人の動きが鈍く、全体的には前年と変わらない。
都市型ホテル(総支配人)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク中は、客単価、利用客数ともに良かったが、5月中旬から下旬はビジネスマンの利用客が少なく、動きが鈍かった。
都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・株主総会シーズンであるが、経費抑制の傾向が依然として強く、総会後の懇親会などの自粛が続いている。

	都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・稼働率はある程度安定的な数字が出ているが、客単価が上昇しない。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間は日並びも良く、海外と国内近場が好調である。しかし、その後は反動から前年を下回っている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・連休はレンタカーの利用が多く、タクシーの利用が少なかった。
	タクシー運転手	単価の動き	・客単価が下がったままで上がらず、同業他社との競争が激しい。
	観光名所(職員)	来客数の動き	・観光施設の入園者数は、ほぼ前年と同じような数字になっている。中の売店では、一部の客で高額なものが売れており、売上が多少上がった。ゴルフ場については悪天候のせいで来客数が減っている。
	設計事務所(代表取締役)	お客様の様子	・地方公共団体の道路等の建設関係、福祉関係の調査などにおける予算額は年々減少している。安い価格で仕事を請けるため、利益が見込めず、赤字を出さないかどうかなどで苦労している状況である。
	住宅販売会社(従業員)	単価の動き	・マンション等の仲介物件の流通数が減っており、問い合わせ自体も売り物件の方が少なくなってきた。
やや悪くなっている	一般小売店[青果](店長)	競争相手の様子	・地域の中規模のスーパーのバイヤーの話によると、どの店も厳しく、前年比95~98%で推移する店ばかりとのことである。当店も同じである。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・前月開催のなかった3日間の全店セールはまずまずの成果となった。ヤング婦人に比べミセスの購買意欲がなく、ミセス婦人服の売上は前年割れとなった。グループ内の新規オープンした店舗は盛況で、来客数、買上点数共に好調であった。新しい提案と新鮮な感性なしには現状維持も難しいと痛感した。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・天候不順の影響もあるが、夏物商戦が衣料を中心に盛り上がり、売上は低調であった。高額品や店外催事のセール等は好調であった。
	百貨店(営業担当)	それ以外	・来客数が減少しているのに加え、販売量そのものも落ちてきている。客単価は部門によってばらつきはあるものの、総平均で見ればやや上がっている。
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・来客数、買上客数が大幅に減少している。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・来客数が伸び悩んでいる。不安定な天候によるところもあるが、春物衣料の動きが鈍い。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数の増加はあるものの、客の買上点数がなかなか増えない。来客数で前年比102%であっても、客単価が前年比96%くらいの数字である。
	衣料品専門店(店員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天気が良く、曜日の並びも連休が取りやすかったため、大型商業施設の来客数が少なかった。ゴールデンウィーク後は、天気が不安定で、夏物衣料の販売が伸び悩んだ。
	乗用車販売店(管理担当)	お客様の様子	・コンパクトカーはまずまずの売行きであるが、ミニバン等の大きな車が厳しくなってきた。やはり原油高の影響が大きい。
	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークが例年になく大型連休となり、会社関係の多い当店にとってはかなり痛手であった。ゴールデンウィーク後、来客数は少し増えてきたが、最後の週に再び途絶えた。
	一般レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・全体的に来客数が減少している。
	その他飲食[居酒屋](店長)	お客様の様子	・例年になく来客数が少なく、頭を痛めている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・大型連休が明け、思った以上に客の動きが悪く売上が落ちた。
	タクシー運転手	来客数の動き	・天候が悪く、朝のうちは忙しいが昼、夜は前年と比べるとかなり減っている。
通信会社(管理担当)	来客数の動き	・来客数が減少してきた。	
通信会社(業務担当)	来客数の動き	・新聞の折り込みのチラシや街頭チラシなどで集客を図ったが実らず、来客数が減少し、店員が余っている状態が続いた。	
競輪場(職員)	販売量の動き	・前年同期比の減少が著しい。	
悪くなっている	百貨店(営業担当)	競争相手の様子	・大型商業施設の進出から1年経ったが、市内大型店及び専門店が前年比70%と苦戦が続いている。

		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・天候不順の影響で、特に雨が多いため来客数がほとんどない。初夏衣料の売上は非常に厳しい。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・来店客が極端に減ってきた。
		高級レストラン (専務)	来客数の動き	・中心街は映画館がなくなったり、店が閉店した。また郊外に大型商業施設ができ、その周辺はにぎやかになり、人の集まりが分散されている。
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	農林水産業(従業員)	受注価格や販売 価格の動き	・5月の宮崎の日照時間は、例年の43%しかなく、園芸作物(ピーマン)の出荷量は大きく落ち込み、価格は前年の10倍近くを付けている。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・自動車関連の設備に対する引き合い及び受注量が多くなっている。特に、原油の高騰が引き金となり、新規開発型の設備が多い。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・取引先の鉄鋼関係の下請、自動車産業関係の下請などの売上高が前年に比べ大きく伸びている。
		金融業(得意先担当)	それ以外	・地場の企業は依然として厳しい状況であるが、ここにきて県外資本の店舗の立地が相次いで予定されている。
	変わらない	農林水産業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・梅雨を思わせるような天候ですべての分野が伸びていない。その上、29日から施行されるポジティブリスト制(農薬等が残留する食品の販売等を原則禁止する制度)の関係で、加工メーカーが対策に追われ、本来の生産ができず、発注が少ない。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・電子部品関連並びに半導体コネクタ関連の動きは、やや活発になってきた。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・資金需要が低迷している。特に短期の運転資金の比率は低下する一方で、商業活動の低迷を示している。
		新聞社(広告)	取引先の様子	・新たに開港された北九州空港関連の動きが一段落ついた。
		経営コンサルタント	受注量や販売量 の動き	・酒税の改正が5月1日より実施されたが、酒税増加分を据え置き、販売しているのが実情である。利益を圧迫し、消費者の買い控えで前年を割っている。
		経営コンサルタント	受注価格や販売 価格の動き	・受注内容は、企業縮小の案件が多く、単価が低い。
	やや悪く なっている	農林水産業(従業員)	受注価格や販売 価格の動き	・輸入牛肉の増加、国産の数量の増加で非常に売行きが鈍っている。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・先月よりも悪化しており、新規受注品が全くない。
		建設業(総務担当)	取引先の様子	・賃金の低下により、下請の職人が次々と辞めていき、見積もできない状況になっている。
輸送業(従業員)		受注量や販売量 の動き	・ペットフード、食品、飲料業界等は全体的に受注販売量が落ち込んでおり、景気は下向きである。	
輸送業(総務担当)		受注量や販売量 の動き	・天候が悪かったこともあるが、工事関連、園芸関連、飲料水、食品等の荷動きが悪かった。	
経営コンサルタント		受注量や販売量 の動き	・今月は天候が悪く、かなりの業種で売上が伸び悩んでいる。タクシー関係等一部の業種で良かったところもあるが、おおむね前年割れをしている。	
その他サービス業[物品リース](役員)		受注量や販売量 の動き	・診療報酬の値下げ改訂等から、当社の強みであった医療部門で、設備更新の見合わせや延期等が出始めており、目標を大きく下回る結果となった。	
悪く なっている				
雇用 関連	良く なっている	民間職業紹介機関(支店長)	求人数の動き	・求人数の増加に加え、人材紹介案件が増加傾向である。
	やや良く なっている	人材派遣会社(社員)	採用者数の動き	・派遣の形態から直接雇用への要請が多くなってきている。企業が雇用確保に動いている。
		人材派遣会社(社員)	周辺企業の様子	・派遣オーダーが、年度末の需要期であった2、3か月前と比較して70%程度に落ち着いてきてはいるが、新規のオーダー件数は20%程度の増加傾向にある。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・業種により人手不足感も出ている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・高校生の求人数は、前年と比べ1割程度増えている。中小企業でも高卒を雇う傾向が出てきた。	
変わらない	新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・北九州新空港が開港し、人の流れや企業の動向も、ゴールデンウィークを境に一息ついた様子で、大きな動きが見られない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人が昨年に比べ5.9ポイント減少したが、これは昨年の大型量販店進出の反動である。これを除くと求人倍率は変わっていない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-